

国民平和大行進 NEWS

2022年原水爆禁止国民平和大行進鹿児島県実行委員会 6月8日(水) No.1

連絡先:事務局=県原水協 099-219-1765 kojirouren08@movie.ocn.ne.jp

2022年国民平和大行進 奄美地区からスタート!

2022年国民平和行進「沖縄～広島」コースの鹿児島県内行進の出発を前に6日から奄美コースのスタートと自治体要請が始まりました。今年の平和行進は、今年の行進は、ロシアによるウクライナ侵略、核兵器使用の威嚇がされるもとして、戦争か平和か、核破局の脅威を許すのか、人類の未来が問われる中での行進となりました。私たちは、世界の人々と連帯し、「戦争ではなく平和を」、「核による威嚇ではなく核兵器廃絶を」の声を、被爆77周年、6月の核兵器禁止条約締約国会議、8月のNPT再検討会議を成功させようと声を上げる行進になります。

奄美地区の実行委員会では、6月6日に島内3自治体（奄美市・龍郷町・大和村）に要請行動を行いました。夕方には、奄美中央病院駐車場で集会を行い、リレートークなどを行った後、長浜町の国道沿いでスタンディングを行いました。



駐車場で集会後に通りに出てスタンディング。練習帰りの子どもたちもいっしょに。

地元紙に紹介記事も大きく掲載されました。

南薩地域の自治体訪問を7日に実施

6月7日10時30分から、2022年原水爆禁止国民平和大行進への支持・賛同を求める3市要請キャラバン行動を実施しました。各市からは塗木南九州市長、前田枕崎市長、山元南さつま市総務企画部長がそれぞれ対応しました。実行委員会からは、池田県事務局長、大倉野南九州市議、豊留枕崎市議、神野南さつま市議の4名が参加し、平和大行進への支持・賛同を求めました。さらに、第10回NPT再検討会議議長および締約国政府への要請署名には、塗木・前田両市長が署名され、山元部長からは本坊市長に署名依頼があったことを必ず伝える旨の回答をいただきました。

塗木南九州市長要請



前田枕崎市長要請



山元総務企画部長に要請書提出



ロシアのウクライナ侵略で多数の民間人が犠牲になっている。将来の為に核使用はダメだ。核が無くならないことには…。

戦争では無く話し合いで解決すべき。

南さつま市は平和都市宣言をしています。趣旨には賛同です。パネル展等もスケジュールが調整できれば展示は可能です。

鹿児島市長および議長への要請を行いました。

鹿児島市長及び市議会議長あてへの要請は、6日（月）の午後におこないました。参加は、新婦人の大野会長、年金者組合の副島さん、事務局長の池田が参加しました。共産党市議団の堅山清隆・大園竜也・園山絵里市議会議員も同席していただき懇談・要請を行いました。総務課長及び副議長の対応でした。鹿児島市の平和行政をいっそうご奮闘いただくよう話してきました。

鹿児島市では、6月いっぱい、6・17鹿児島大空襲とその後の復興写真展をセンテラスの天文館図書館のギャラリーで行っており、8月の6日周辺では、原爆写真展を同じ会場で実施する予定だと聞きました。きっと多くの観覧があることと思います。

●今後の予定 各自治体訪問とスタンディング宣伝を各地で行います。

- 6月10日（金） 鹿児島市（出発式・スタンディング）
- 6月13日（月） 指宿市・鹿児島市谷山地区
- 6月14日（火） 南九州市・南さつま市・枕崎市
- 6月15日（水） 垂水市・鹿屋市・肝付町・東串良町・南大隅町・錦江町
- 6月16日（木） 大崎町・志布志市・曾於市
- 6月17日（金） 始良市・霧島市・湧水町・伊佐市
- 6月20日（月） 日置市・いちき串木野市
- 6月21日（火） さつま町・薩摩川内市
- 6月23日（木） 長島町・阿久根市
- 6月24日（金） 出水市・熊本県への引継ぎ集会（県境にて）